

上越市の除雪費(平成12年度)は

3億8千万円 ですが

標準的な除雪に必要な費用として国から交付された

交付税は6億4千万円 です

杉本敏宏議員の一般質問から



上越市の除雪は

なぜ悪い

新井市や板倉町、妙高高原町などから上越市にやってきた人たちが「上越市の除雪は悪い」といいます。「降った雪はおらとこの方がいっばいだけど、道路の雪は上越の方がいっばいだ」ともいっておりました。今年の冬は、15年ぶりの大雪といわれており、職員をはじめ業者の皆さんも一生懸命やっておられました。何が原因なのでしょう。

もらった交付税を 使っていない

2月に「除雪費の補てんのために特別交付税の増額を」と総務省に交渉に行ってきました。その時に「普通交付税に算入した除雪費を使いきっていないところに特別交付税は出せない」ということが解ったのです。

除雪費を比べると

上越市、新井市、板倉町、清里村、牧村、三和村の2市1町3村の除雪経費を調べてみました。

まず11年度の実績ですが、上越市3億758万円、新井市3億2550万円、板倉町7756万円、清里村6885万円、牧村7952万円、三和村4571万円

除雪費比較

	12年度除雪費 見込み	12年度交付税 見込み	除雪費 / 1km 12年度見込み	11年度除雪費 実績
上越市	3億8514万円	6億4325万円	48万円	3億0758万円
新井市	4億9020万円	2億4367万円	235万円	3億2550万円
板倉町	8660万円	1億1383万円	103万円	7756万円
清里村	7365万円	7144万円	144万円	6885万円
牧村	1億0438万円	5360万円	150万円	7952万円
三和村	4571万円	6266万円	43万円	3909万円

一人当たりの 除雪費最低

そこで少し角度を変えて見ます。住民一人当たりいくら使っ

3909万円です。12年度2月5日現在の見込み額で、上越市3億8514万円、新井市4億9020万円、板倉町8660万円、清里村7365万円、牧村1億438万円、三和村4571万円です。上越市は25%増しですから、健闘しているように見えます。

1km当たりの 除雪費も少ない

道路除雪に限ってみますと、除雪路線1km当たり、上越市38万円、新井市158万円、板倉町93万円、清里村137万円、牧村112万円、三和村36万円です。三和村よりもわずかに多いものの、新井市の4分の1、牧や清里の3分の1です。これでは除雪が悪いのは当たり前です。除雪費を抜本的に増額する必要があるのではないのでしょうか。

ているか。11年度実績で比較しますと、上越市2298円、新井市11503円、板倉町9827円、清里村20940円、牧村25219円、三和村5989円で、牧村や清里村の10分の1程度、上越市以外で最低の三和村の半分にしかありません。「予算がない」というのは当然です。

交付税の半分も 使っていない

雪寒地域の地方交付税には、除雪費用が算入されています。もちろん交付税は地方自治体の一般財源ですし、色がついてくるわけではありません。

11年度実績で、上越市6億4862万円、新井市2億324万円、板倉町1億0616

「国は、交付税の交付に当たっては、地方自治の本旨を尊重し、条件をつけ、又はその用途を制限してはならない。」
地方交付税法第3条2項

万円、清里村6610万円、牧村5083万円、三和村6595万円です。国から手当てされた除雪費分の交付税を全額除雪に使わなくても、交付税の性格上これは違法でも何でもありません。しかし、新井市、清里、牧などは交付税分では足りなくて持ち出しているのと比べると、上越市が44%しか使っていないというのはいかがなものでしょうか。

財源はあります

財源がないわけではありません。最低手当てされた交付税を全額除雪に回しただけで、予算額を2倍に引き上げることができるとは、抜本的に除雪予算を増やす必要があると思っただけですが、市長の考えをお示しください。

上越民報

2001年3月25日 178
日本共産党上越市委員会
日本共産党上越市議会議員団
上越市五智1丁目2番12号
TEL 43-1890 FAX 43-1875
編集 杉本敏宏 発行 樋口良子
TEL 24-3787 FAX 24-3832 TEL 44-6802 FAX 44-7004
http://web.joetsu.ne.jp/~t-sugi/